

# 令和6年度温泉地学研究所研究成果発表会プログラム

日時：令和6年11月29日（金） 13:50～16:35（13:20 受付開始）

開催場所：温泉地学研究所2階会議室＋オンライン（Zoom）

## ■開会挨拶

13:50-14:00 温泉地学研究所長 板寺 一洋

## ■口頭発表（括弧内は発表者）

### (1) 14:00-14:25 自治体が設置した強震計を使って推定した2024年能登半島地震の断層破壊（本多 亮）

本研究では2024年1月1日16時10分に発生したM7.6の地震（2024年能登半島地震）について、広範囲かつ高密度に分布する自治体設置の強震計のデータを用いてアレイバックプロジェクション解析を行い、破壊がどのように進展していったのかを推定しましたので、その結果について紹介します。

### (2) 14:25-14:50

#### 研究成果を如何にして地域社会に還元するか？（文科省PJ三浦半島活断層群調査における取組）（小田原 啓）

東京大学地震研究所、防災科学技術研究所と共同で実施している三浦半島活断層群調査において、プロジェクト全体の概要と当所が担っている地域連携勉強会の取り組み内容について紹介します。

### (3) 14:50-15:15 2023年以降の県内地震活動・箱根火山活動について（安部 祐希）

神奈川県およびその周辺地域を中心とした2023年以降の地震活動の概要と箱根山の火山活動についてお話しします。

## 休憩（15:15-15:25）

### (4) 15:25-15:50 大涌谷の地下はどうなっているのか？ 電磁探査の最新結果と新手法の開発（萬年 一剛）

地下の電気の通りやすさを測定する電磁探査という技術の一種、CSAMT法探査により、大涌谷の地下の様子がわかってきました。この結果をもとに、大涌谷にはなぜ噴気や温泉があるのか2015年噴火はなぜ起きたのかを考えます。

### (5) 15:50-16:10 地層別にみた神奈川の湧水の特徴（難波 あゆみ）

地下水が自然状態で地表に流出したもの、もしくは地表水に流入するものを湧水と呼びます。湧水の水質は地域ごとに特徴があり、本発表では水を貯える帯水層の地質ごとに湧水の水質特性を捉えましたので、その成果を発表します。

### (6) 16:10-16:30 箱根温泉～60年超の観測結果から見えるもの（菊川 城司）

箱根温泉では、これまで60年以上にわたって源泉のモニタリング調査が実施されてきました。その結果から箱根温泉の現状を紐解くと共に、温泉保護のあり方について考えます。

## ■閉会挨拶

16:30-16:35 研究課長 宮下 雄次

※口頭発表の内容および順番はやむを得ず変更させていただく場合があります。